

主催



共催

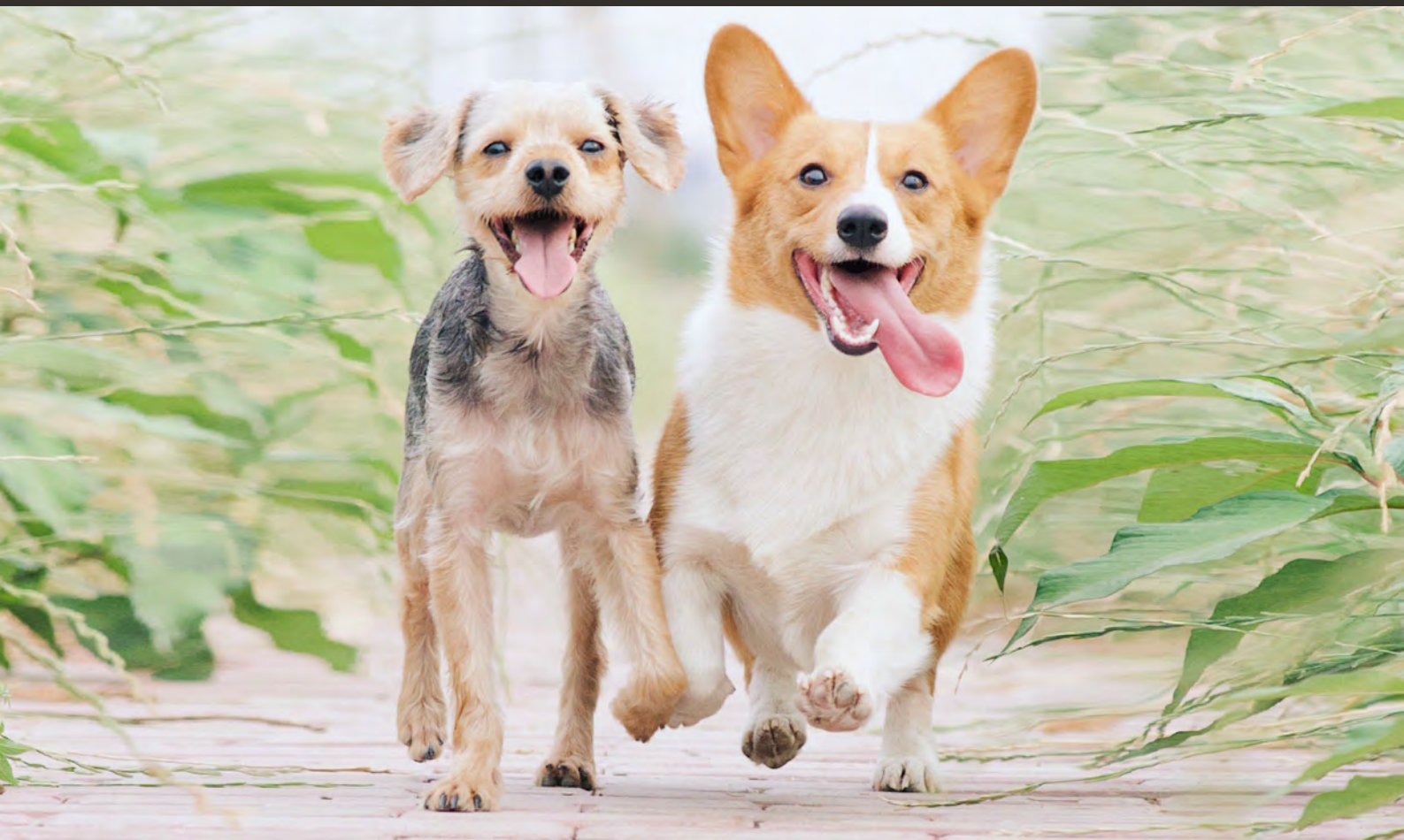


共催



Joint Instability Seminar and Advanced TPLO Seminar in Tokyo

暫定プログラムv2



DAY 1-2 Joint Instability (関節不安定症)

2026年9月15日(火)

11:00 ~ 18:30

2026年9月16日(水)

09:00 ~ 18:00 ※17時終了予定

DAY 3-4 Advanced TPLO

2026年9月17日(木)

09:15 ~ 17:50

2026年9月18日(金)

09:00 ~ 17:35 ※17時終了予定

講師

Brian Beale 先生 DVM, DACVS

Nexus Veterinary Consultants, Founder

是枝 哲彰 先生

JARVIS どうぶつ医療センター Tokyo 院長

天野 まど香 先生

東京大学大学院農学生命科学研究科 附属動物医療センター

外科系診療科 特任研究員

アセンズ動物病院 整形・神経外科

通訳

久保田 朋子 先生

会場

アニコムビル5階(JARVISどうぶつ医療センターTokyoと同一ビル)
〒108-0075 東京都港区港南2丁目13-37

JR品川駅港南口から徒歩5分。病院駐車場のご利用はお控えください。

受講料・定員

各セミナー受講料(税込み・昼食込み) / 各18名 ※先着順

A) 関節不安定症のみ 9月15日(火)～16日(水)16万円

B) Advanced TPLOのみ 9月17日(木)～18日(金)16万円

C) 両方 9月15日(火)～18日(金)30万円

プログラム

DAY 1 Joint Instability (関節不安定症)

2026年 9月 15日 (火)

◆足根骨不安定症

10:30 受付

11:00 講師紹介・セミナー諸注意事項のご案内

11:05 犬・猫における足根部不安定症の診断

Beale 先生

11:45 足根関節の部分および完全関節固定術

Beale 先生

12:30 昼食

13:30 アキレス腱損傷の修復術

Beale 先生

14:00 実習 1: アキレス腱および踵脛骨プレートの修復術

- アキレス腱断裂 - #1 または #2 プロレン縫合糸(予定)
- 踵骨から脛骨への 2.4mm プレート(骨模型: 足根骨)

15:15 休憩

15:30 実習 2: 足根部の部分関節固定術

- 足底靱帯断裂 - 2.7mm 8 穴 CDT ロッキングプレート(上記と同じ骨模型: 足根骨)
- 2.4 および 2.7mm のスクリュー

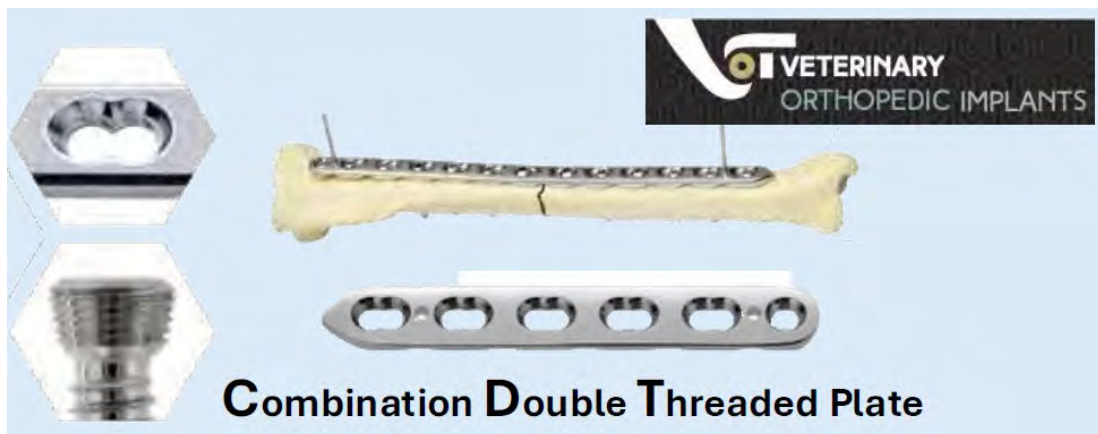
16:45 実習 3: 足根部の完全関節固定術

- 変形性関節症および多発性靱帯断裂
- 2.4 および 2.7 の足根骨全体(Pan tarsal)プレート(上記と同じ骨模型: 足根骨)
- 2.4 および 2.7 のスクリュー

18:15 まとめのディスカッション

Beale 先生

18:30 Day 1 終了



Movora Education 担当: 田中 誠一

090-2455-8008 / seiichi.tanaka@movora.com

◆股関節・膝関節・手根関節の不安定症

09:00 外傷性股関節脱臼の整復術

Beale 先生

10:00 休憩

10:20 実習 4: 股関節脱臼の整復術

- トグルロッド - 2.0mm OrthoSta (骨模型: 股関節)

- 腸骨大腿骨縫合 - 2.0mm OrthoSta (骨模型: 股関節)

12:30 昼食

13:30 実習 5: FHO

- サジタルソー (同一骨模型: 股関節)

14:30 手根骨掌側不安定症の診断と治療

15:15 休憩

15:30 実習 6: 全手根関節 (Pancarpal Arthrodesis) 固定術

- 掌側靱帯断裂 - 2.4/2.7 PCA (Pan carpal Arthrodesis) プレート (骨模型: 手根骨)

17:00 側副靱帯損傷の診断と治療

Beale 先生

17:30 総括・ディスカッション

Beale 先生

18:00 セミナー終了

◆セミナー概要: Brian Beale 先生より

犬や猫によく見られる関節の不安定症の診断法と治療法を学ぶ、この貴重な機会をお見逃しなく。

本コースでは、足根関節、股関節、膝関節、手根関節に生じる、関節の不安定性を引き起こす一般的な損傷について取り上げます。

参加者は、革新的な OrthoSta (人工靱帯) システムを用いた、実績のある靱帯再建術の手法を学ぶ機会を得られます。

また、ロッキングプレート技術を用いた足根関節および手根関節の部分関節固定術および完全関節固定術の実施方法についても学びます。

アキレス腱損傷の治療法についても取り上げます。

各疾患について、診断、手術手技、術後管理について解説します。

◆学習目標:

1. 靱帯再建の原理を理解する。
2. 部分関節固定術および完全関節固定術を用いた手根関節および足根関節の不安定性の診断および治療法を学ぶ。
3. 外傷性脱臼後の股関節の安定化方法を習得する。
4. 側副靱帯損傷の診断および修復法を習得する。
5. アキレス腱損傷の治療法を学ぶ。

OrthoSta

Knotless Ligament Repair System



Explore our online resources page to find more information regarding OrthoSta including this document and eIFUs.
movora.com/resources

Movora Education 担当: 田中 誠一

090-2455-8008 / seiichi.tanaka@movora.com

08:30 受付開始

09:15 講師紹介・セミナー諸注意事項の案内

09:30 TPLO – 理論的根拠と概念

Beale 先生

- 頭側脛骨スラスト術の概要
- 簡単な判断基準 – TPLO 対 TTA および関節外法
- TPLO の力学
- 適応症の選定
- TPA に関する考慮事項
- 併発疾患 – 変形・MPL・eTPA

10:10 前十字靭帯(CCL)部分断裂の X 線および関節鏡による診断

Beale 先生

- CCL 部分断裂の臨床徴候
- CCL 断裂の X 線所見
- 部分的な CCL 断裂の関節鏡所見

10:45 休憩

10:55 TPLO プレートの設計と選択肢 是枝先生

- TPLO プレートの理想的な特徴
- プレート設計の比較

11:15 Power Tools(ドリル)システムと特殊機器

是枝先生

- TPLO 用 Power Tools(ドリル)の種類
- 特殊機器 – キャリパー・ジグ・鉗子・スラストレバー・プローブ・鋼製小物など

11:35 TPLO による MPL の矯正

是枝先生

- MPL の分類とグレード
- MPL 修復術の概要
- 術前計画
- 大腿骨の矯正
- 脛骨の矯正

12:25 昼食

13:10 実習 1:MPL および TPLO

14:40 過剰 TPA(Excessive TPA)および TPLO 変法

Beale 先生

- E-TPA の診断と意思決定
- E-TPA の是正法
- 計画
- TPLO および CCWO
- TPLO ダブルカット術
- 改良型 CCWO

15:40 休憩

15:50 実習 2:E-TPA を伴う TPLO

17:50 Day 1 終了



Versiv TPLO



Adaptiv TPLO-m

09:00 脛骨の変形を伴う TPLO

Beale 先生

- ・ 診断
- ・ 意思決定
- ・ CORA 概念の概要
- ・ 術前計画
- ・ 矯正骨切り術の手技

09:30 休憩

09:40 実習 3: 脛骨外反変形を伴う TPLO

- ・ vPOP-Pro ソフトを用いた術前計画
- ・ 内側三日月状ウェッジによるダブルカット TPLO

11:25 TPLO の合併症と治療

是枝先生

- ・ 脛骨粗面骨折
- ・ 膝蓋腱炎
- ・ 脛骨骨折
- ・ アライメント不良
- ・ ピボットシフト
- ・ インプラントの位置異常
- ・ インプラントの機能不全
- ・ 不適切な TPA 再置換術

12:25 昼食

13:10 過度の脛骨回転と Anti-rotational Suture(OrthoSta)による安定化 Beale 先生

13:40 実習 4: TPLO を併用した Anti-rotational Suture(OrthoSta)縫合術

15:40 休憩

15:50 TPLO 術後の感染症治療

Beale 先生

- ・ 感染の予防
- ・ 感染の臨床症状
- ・ 感染症の診断
- ・ 意思決定
- ・ バイオフィルムの特性
- ・ 治療法 - 抗生物質・デブリードマン、インプラント抜去、バイオフィルム洗浄

16:20 半月板損傷 - 診断と治療

Beale 先生

- ・ 損傷機序と断裂の種類
- ・ 発生率 - 部分断裂と完全断裂の比較
- ・ 半月板の評価と診断
- ・ 半月板部分切除術の手術手技
- ・ 半月板リリース術 - 適応判断と術式

16:50 臨床症例検討

是枝先生

- ・ 小型犬
- ・ 猫
- ・ 中型・大型犬
- ・ 軟骨異形成症の犬
- ・ パフォーマンス犬

17:35 セミナーの終了



Explore options for online education and in-person labs to learn more about Movora's extracapsular solutions. education.movora.com

◆セミナー概要: Brian Beale 先生より

犬の前十字靭帯(CCL)損傷の日常的な症例における TPLO 術を習得された今、より困難な症例に取り組む準備はできていますか？

本コースでは膝蓋骨脱臼、四肢の変形、及び脛骨プラトーの過度な傾斜を併発している犬における、TPLOを用いた CCL 修復術について取り上げます。

このような特殊な状態を治療するには、正確な術前計画と従来の TPLO 術式の修正が必要です。

適切に実施されれば、これらの状態を同時に修復した後の臨床機能は極めて良好です。

本コースでは、さまざまな犬種および猫種における TPLO の適用、過度の膝関節回転を伴う TPLO の修正法、半月板の診断と治療、その他数多くの合併症についても解説します。

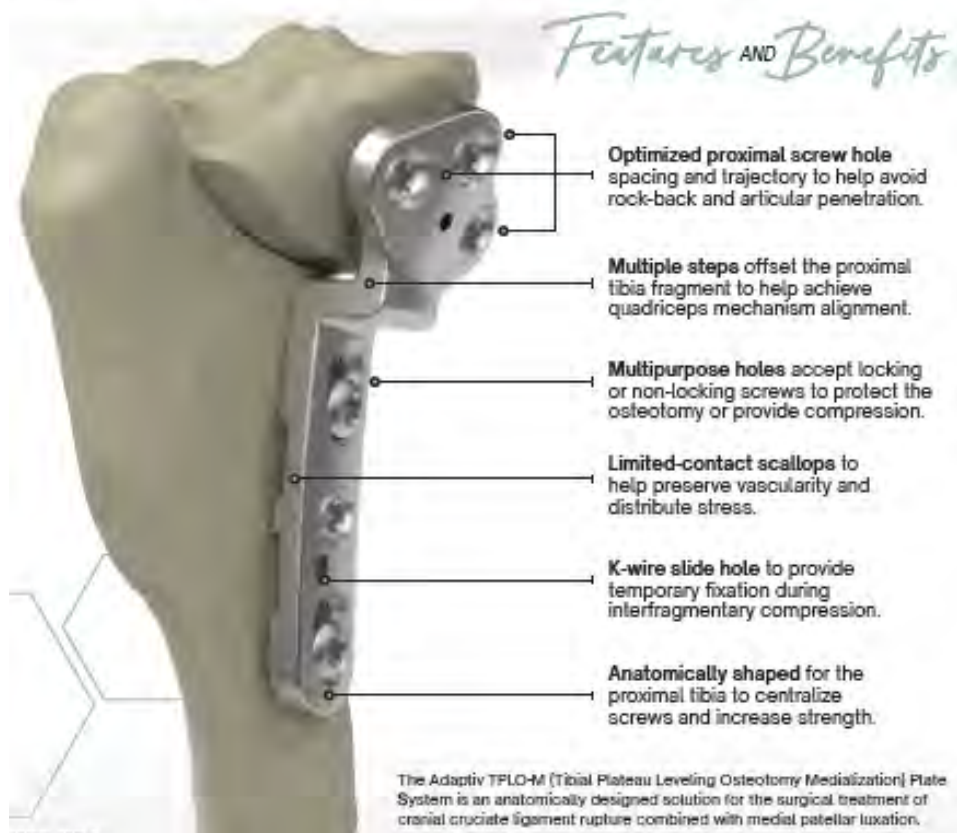
本コースを受講するには、事前に通常の TPLO コースを修了している必要があります。

◆学習目標:

1. 膝蓋骨脱臼を併発した症例における TPLO の実施方法を学ぶ。
2. 脛骨高平角が過大である場合の TPLO の実施方法を学ぶ。
3. TPLO 術後の感染を予防・治療する方法を習得する。
4. 脛骨変形を伴う TPLO の手術方法を習得する。
5. Suture を施すことにより、過度の膝関節回転を伴う TPLO を修正する方法を学ぶ。

Adaptiv TPLO-M Plate System

Precise Medialization. Purposeful Innovation.



Movora Education 担当: 田中 誠一

090-2455-8008 / seiichi.tanaka@movora.com